

岡山県社会福祉

おかやまけんしゃかいふくし

2020

秋

No.642



ゴリラカフェのスタッフと子どもたち ～被災地に寄り添うより～

「特集インタビュー」届けたい！兄弟姉妹に障害者のいる私たちの声。

CONTENTS

社会福祉法人の公益的な取組レポート	4
被災地に寄り添う	5
現場からの発信	6
県社協ニュース	8
赤い羽根共同募金	11
「ふくし」の仕事人たち	12



社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
URL: <http://www.fukushiokayama.or.jp>
Facebook: <https://facebook.com/fukushiokayama/>





届けたい! 兄弟姉妹に 障害者のいる私たちの声。



今号では、ご自身もダウン症の弟と二人暮らしをしながら、兄弟姉妹に障害者のいる人達が互いに思いや悩みを語る場として「岡山きょうだい会」を設立された増田美佳さんにお話を伺いました。自分達のことなのに自分のことは二の次のきょうだい達。家族が大事だからこそ自分のことも大事にしてほしいという思いを始め、活動についてお話いただきました。

「まず始めに、「きょうだい会」のことや「岡山きょうだい会」を立ち上げるきっかけについて教えてください。」

「きょうだい会」とは兄弟姉妹に障害や病気を抱える人を中心とした団体です。きょうだいには、障害者本人でも親でもない、きょうだいの思いがあります。その思いを分かち合い、きょうだい自身も自分の人生を生きることを目的に各地で活動しています。「岡山きょうだい

会」は2018年4月に立ち上げましたが、実は私自身、それまで「きょうだい会」の存在を知りませんでした。当時、母親は既に他界し、父親は施設入所しており、ダウン症の弟と二人暮らしでした。その年の1月に私がインフルエenzaに罹り、その間弟を施設に預けることもできず、県内に頼れる親族もない中で、弟もインフルエenzaに罹ってしまった、その時は何とか気力で乗り切ったのですが…。このように私が

ケガや病気になった時、弟のことなどに相談すれば？とネットで検索して初めて「きょうだい会」の存在を知りました。ただ、参加しようにも近くても神戸や京都・広島など、その時の私は頻繁に県外には行けず、「無いなら作ってしまえ」という思いで立ち上げを決めたのでした。その後、立ち上げ準備で行政を始め、あらゆるところに相談するも「きょうだい会」のことを知っている人はほぼゼロ。ご存知の方が稀という現状に驚くと共に、「きょうだい会」の存在自体をもっと多くの人に知ってもらう必要がある!と強く感じました。

「「きょうだい会」を立ち上げてから印象に残っていることを教えてください。」

兄弟姉妹に障害者のいる人は、我慢強かったり自分の意見を言うことが苦手だったり、周りの空気を読みすぎる、という傾向があると言われています。私自身、当てはまる点は多いのですが、そのことを意識したことはあまりありません。それは私がたまたま、ありがたいことに家族や学校環境に恵まれ、障害に対してポジティブな経験が多かったからだと思います。しかし、全国の「きょうだい会」の集まりに参加し、学生時代にいじめられた経験から人と関わることにトラウマを持つ人やうつ病を患っている人、親亡き後の兄弟姉妹のお世話を無言の圧力のようを感じて育ち、自分の存在意義に不安を感じながら生きている人が多くいることを知りました。

今年3月に開催予定だったイベント「第1回リアルボイスTODOKERU発表会&SHIRTAI勉強会in岡山」は新型コロナウイルスの影響で延期。再感染拡大リスクの中、直前にライブ配信オンラインイベントに変更し、8月末に開催しました。当日は、知的障害者の弟を持つ岡山県住みます芸人の江西あきよしさんも講師として登場。初めての試みで大変でしたが、終了後に「ぜひ次回も！」という参加者のみなさんやスタッフの声を聞き、ホッ。これからも継続して開催し、このイベントが「きょうだい」のことを一人でも多くの方に知っていただくきっかけとなるように、岡山だけでなく全国に展開していきたい、と増田さん。



イベント当日のスタッフの皆さんと

「岡山きょうだい会」の活動内容について教えてください。

「岡山きょうだい会」は、それぞれの垣根を越えていろいろな人に関わっていただきたいので、障害や病気の種類、兄弟姉妹に限定せず、関心のある方はどなたでも参加できます。現在、大学生から70代まで約30名の会員がおり、テーマを決めた勉強会のような例会と、カジュアルに意見交換のできるお茶会を1、2カ月に一度、交互に開催しています。初めて参加されたきょうだいの方の中には、今まで気づいていなかった自分自身の心の痛みに気づき、感極まって涙を流される方もおられます。安心して自分の感情を出せる場として今後も続けていく予定です。また、いきなり会に参加することが難しい方にはLINE等で個別にお話を伺うこともあります。併せて、広報活動も兼ねたイベントを開催したり、支援学校や福祉施設などに出向き、先生や保護者の方に向けてきょうだいの思いやきょうだい支援について、講演や座談会などもさせていただいています。

読者に向けて、メッセージをお願いします。

施設の職員さんは利用者本人の支援はするけれど家族のことまでは、と思われるかもしれませんが、家族はみんな繋がっています。家族に何かあれば、良くも悪くも影響があるということとを少し気に留めていただけると嬉しいのです。さらに「健康で障害や病気もないきょうだいに對して何の支援が必要なの？」と言われること

もあります。何か具体的な支援というより、きょうだい達は自分のこともちゃんと見てくれていると感じることで安心します。幼い頃はなおさらです。「誰も自分のことなど見てくれないんじゃないか？自分は必要ない人間なのではないか？」無関心でいられることが何よりもつらいのです。

「親は半生、きょうだいは一生」

親が我が子に関われる時間よりきょうだいに関わる時間の方が長く、たとえ離れて暮らしていくとしても、その関係性は一生続いていくのです。だからこそ、今、悩み苦しんでいるきょうだい達が「状況は変わらなければ、自分一人じゃない。明日からまた頑張るか！」そう思っていただけの場合に「きょうだい会」がなっているようにこれからもたくさんの皆さんのお力をお借りして一緒に頑張っていきたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

Profile



岡山きょうだい会

代表 増田 美佳 さん

〒702-8011 岡山市南区郡 902-85

☎：090-1359-2007

✉：okayama.kdk@gmail.com



特別養護老人ホームせとうち ふれあい親子食堂

地域と共に、
生きる



● 食堂オープンに至るまで

「地域の中で共に生きる」という法人理念のもと、設立当初から様々な取り組みを通して地域とのつながりを深めてきました。そんな中で「子どもだけでなく、親御さんも交流ができ、顔なじみになれるような場があれば…」という声が職員から上がったことが、ふれあい親子食堂開設のきっかけです。

行政との話し合いや学校へのニーズ調査等も行いながら検討を進めていたところ、地域の皆さんからも同様の声が上がっていることを知り、瀬戸内市社会福祉協議会のバックアップもあり、開催に至りました。

● 開催時の様子

開催当初は、子どもとお母さんだけの参加が多かったのですが、近所の方が独居高齢者の方に声をかけて、一緒に参加されたりと、参加者の顔ぶれが多様化しています。

施設職員と、民生委員や愛育委員等のボランティアを中心に運営していますが、施設入居者やそのご家族に参画していただくこともあります。フードバンクや地元企業の協力も得られるようになり、地域と施設が丸となつて関わっています。

● 今後の課題や展望

立地の問題もあり、参加人数が少ない回があります。また、本当に支援が必要と思われ

る方やご家族の参加がやや遠のいてしまったことも課題と感じています。今後は、法人内で実施している学習教室を同時開催する等、既存の取り組みとも連携させながらの実施も検討しています。参加した子ども達が介護や福祉に関心をもつきっかけになれば…とも考えています。

職員一人ひとりが「私達が入居（利用）したい施設を創ろう」という法人の基本方針を大切に、取り組みへの参画や新たなアイデアの創出にも積極的です。法人として、このような環境を維持しながら今後も色々な取り組みを続けていきたいです。

今回お話をうかがった皆さん



▲広報担当職員
杉山さん



▼施設長
大城さん



▲元職員
(立ち上げメンバー)
高山さん

お問い合わせ先

社会福祉法人藤花会 特別養護老人ホームせとうち

瀬戸内市邑久町福中1180

TEL: 0869-22-2006 FAX: 0869-22-2828

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、9月30日現在、ふれあい食堂の開催は休止しています。



被災地に寄り添う ～西日本豪雨の被災地のいま～

食で笑顔をつくる 人と地域をつなぐゴリラカフェ



NPO法人災害支援団 Gorillaによる「ゴリラカフェ」

所在地 倉敷市真備町有井93-1（おひさま広場内）

隔週土曜日、毎週日曜日にオープン（現在はテイクアウトのみ）

※オープン日はSNSでもお知らせしていますのでご確認ください。

●ゴリラカフェのはじまり

代表の茅野さんは、西日本豪雨発災後、すぐに炊き出し活動を開始。その後、避難所の園（その）小学校で避難者や支援者の憩いの場所として、ゴリラカフェをオープンしました。

今年の4月からは、おひさま広場（真備町有井）にあるトレーラーハウスにて、被災者だけでなく地域の方々が集まって交流できるスペースとして現在のカフェをオープン。「ここにくれば誰かに会える」と思っ、地域住民がつどいます。屋外には滑り台や砂場が作られていて、子どもたちが遊べるようになっており、子どもたちの元気な声が広場全体に響き渡っていました。

●みんなの居場所

「ここで仲良くなった！」そう話ながら仲良く駄菓子を選ぶ子どもたち。子どもたちの駄菓子の購入費用は、来店客の募金により成り立っています。募金したお金はチケット（1枚100円分）と交換できます。子どもたちは、そのチケットを使って駄菓子やアイスを購入します。「ただもうのではなく、自分たちで購入する」という意識を抱いてもらう為、利用したチケットには、子どもたちが募金した方に向けて、思い思いに感謝の気持ちを書き込みます。そして募金した方は、再来店した時に子どもからのメッセージを受け取れます。

取材班も募金しました！



メッセージを書いたチケット

スタッフの藤澤さんは、「顔は見えないけれど、誰かが自分のことを想ってくれている」という安心感を子どもたちに伝えていきたいと話してくださいました。



ゴリラカフェがきっかけで仲良くなった子どもたちとスタッフ

●食で人と地域をつなぐ

「おいしいご飯で笑顔にならない人はいない。笑顔でおいしいものを提供するスマイルクリエイターでありたい。」と代表の茅野さん。「地域のつながりが希薄化している現代だからこそ、この場所から笑顔で人と人がつながっていくことを大切にしたい。そして災害を乗り越えていく地域を構築していきたい。」と語ってくださいました。

協力

■公益社団法人 Civic Force
■認定特定非営利活動法人 peace winds JAPAN



岡山駅から徒歩10分。
朝7時から開いている定食屋さんがあります。けして広くはない店内ですが、まるで実家で食事をしているような暖かい雰囲気があります。

食事をするだけでなく、人とのつながりを感じられるお店。
「民間人だからできること」を考え、実践されている店主の横田都志子さんにお話をお聞きしました。

心を満たす定食屋さん カフェ・定食 ぽん太

『カフェ・定食ぽん太』は、家庭料理の定番の煮物や和え物、魚を中心にした献立で朝と昼をしつかり食べることができのお店です。最大の特徴は『テゴ制度（テゴは岡山弁で“手伝い”の意味）』。1時間お店の手伝いをする、一食分の食事券がもらえます。

食事券は誰かにあげても構いません。見知らぬ困っている人にあげることもできます。店の入口には、提供された食事券がズラリと貼られています。お腹がすいたけどお金が無い、そんな人がお店に来たとき、入口にあるこの券を使って、食事をすることが出来ます。

以前より子ども食堂の運営に携わってきた経験から、『食べる』の大切さを強く感じていました。また、地域に関わる仕事をすることで、お金がなくて困っている人がたくさんいるということに心を痛めていました。お腹がすいたら人間怒りっぽくなる、でもきちんとした食事を食べれば穏やかに



入口に貼られた食事券
誰でも使えます。

なれる。子ども食堂でお手伝いしたら子ども達が食事を食べられるように、「大人でもお手伝いしたら食事は無料」ができるお店として、『カフェ・定食 ぽん太』は、平成30年9月にオープンしました。

お店をオープンすると、色々な人がやってきました。生活に困っている人、精神的に不安が大きくなっている人、何年も入院をしていて社会のことがよくわからなくなった人、字が読めない人など…。中には態度の悪い人もいました。

少し前にお店によく来ていた、Aさんという男性がいました。頭

は短く刈り込みサングラスをかけ、チェーンのネックレスをしています。言葉遣いはなれなく、少し威圧的で、一見すると近寄りたがいない雰囲気の人でした。Aさんは『タダで食事が食べれるところ』として、毎日のようにお店に来て、提供された食事券を使って食事をしていました。周りのお客さんは、そんなAさんを、すこし警戒する様子もありました。

ある日、Aさんと話をしたところ、彼は非常に幼い話し方をしました。Aさんは『この券を使って食べるのは悪いことなのか？』と聞いてきました。『テゴ制度』や



屋定食 (800 円)
おかずは日替わり。好きなものを選べます。



事業報告・決算報告

第7次岡山県社協経営・活動計画（平成30年度からの5か年計画）の2年次となる令和元（平成31）年度は、「県民主体および県民参画を基本とした福祉コミュニティづくり」を基本理念とし、4つの経営方針の達成に向けて、各種事業を推進した。

【4つの経営方針及び推進目標達成率】（全体平均 89%）

経営方針① 【組織】 組織の実行力	法人経営・運営組織の機能強化	89%
経営方針② 【活動】 地域の福祉力	多様な主体の参画による福祉のまちづくりの基盤整備 地域を基盤とした総合相談・生活支援体制の整備・促進 社会福祉法人等における福祉サービスの質の向上	85%
経営方針③ 【人事・労務】 人材の創造力	人事・労務管理体制の充実強化	90%
経営方針④ 【財務】 経営の自立力	財務基盤及び管理体制の整備	90%

経営方針① 組織 「組織の実行力」

【主な成果】

- ◆ 特定社会福祉法人として、会計監査人による監査や内部監査の実施、ガバナンス強化を図った。
- ◆ 任期満了に伴う役員改選を行い、新会長が選任された。
- ◆ 本会会員の加入率向上に向けて、加入勧奨を行った。

- ◆ 第2次広報活動強化方針に基づき、イメージキャラクターグッズによる認知度向上や、ホームページ等による情報発信など、広報・情報活動の強化に努めた。

- ◆ 平時からの関係機関等との連携や、新たにライオンズクラブ国際協会と災害時支援協定を締結するなど、ネットワーク強化を図るとともに、新見市集中豪雨災害等の被災地支援を行った。

経営方針② 活動 「地域の福祉力」

【主な成果】

- ◆ 小地域福祉活動の拠点や仕組みづくりに向けて、生活支援コーディネーターの情報交換会やセミナー等を開催した。

- ◆ 地域公益活動推進体制づくりの支援として、説明会や情報提供

を行い、社会福祉法人ネットワーク組織の設立を支援した。

- ◆ コミュニティソーシャルワーカーのスキルアップ研修の開催など、多機関協働による制度の狭間の問題解決に向けた人材育成に取り組んだ。

- ◆ 災害派遣福祉チームの運営に関する体制整備を図るとともに、災害ボランティアセンター設置訓練を行うなど県内社協の災害時における体制整備を促進した。

- ◆ 日常生活自立支援事業の専門員等の資質向上に取り組むとともに、成年後見制度利用促進に係る情報提供等に取り組んだ。

- ◆ 生活困窮者自立支援事業関係者連絡会議等を開催するなど、相談支援力の向上に取り組んだ。

- ◆ 新型コロナウイルス感染症の影響による困窮者を対象とした特例貸付に対応した。

- ◆ 市町村社協活動活性化支援事業として助成し、総合相談・生活支援機能の強化を図った。

- ◆ 平成30年7月豪雨災害の被災者への後方支援に努めた。

- ◆ 社会福祉法人等への経営支援として、情報提供や経営相談、福利厚生制度等の支援を行った。

- ◆ 「福祉紹介キャンペーン」や「福祉の職場見学・体験ツアー」、「福祉の就職総合フェ

ア」等に取り組む、福祉の仕事の理解促進や人材確保の支援に努めた。

- ◆ キャリアパス対応生涯研修課程等の研修会を開催し、社会福祉法人等の人材育成における体制整備の支援に取り組んだ。

経営方針③ 人事・労務 「人材の創造力」

【主な成果】

- ◆ 法人の年度研修計画に基づく、個人研修計画を策定し、職員の資質向上に努めた。

- ◆ 労働や雇用、衛生環境の整備を積極的に行い、働きがいのある職場環境づくりに努めた。

経営方針④ 財務 「経営の自立力」

【主な成果】

- ◆ 法人経営の安定化の為、自主財源の増強に努めるとともに、民間財源の有効活用を行った。

- ◆ 計算書類等をホームページ上で公表するなど、より透明性の高い財務管理に努めた。

※強調箇所は、第7次経営・活動計画における重点到達目標を示している。

法人資金収支計算書

(自) 平成 31 年 4 月 1 日 (至) 令和 2 年 3 月 31 日

(単位: 円)

会計並びに拠点区分名	収入決算額	支出決算額
一般会計	4,053,977,063	3,201,007,819
社会福祉事業区分	447,087,574	405,268,149
公益事業区分	3,593,179,217	2,782,027,040
収益事業区分	13,710,272	13,712,630
生活福祉資金会計	3,063,422,548	35,582,440
要保護世帯向け不動産担保型 生活資金会計	70,294,973	19,169,980
生活福祉資金貸付事務費会計	67,334,932	52,228,486
臨時特例つなぎ資金会計	3,968,415	3,022,598

※収入決算額には、前期末支払資金残高を含む。

一般会計貸借対照表

令和 2 年 3 月 31 日現在

(単位: 円)

勘定科目	金額	勘定科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	883,892,931	流動負債	48,845,969
固定資産	15,210,955,239	固定負債	13,050,811,584
基本財産	30,000,000	負債の部合計	13,099,657,553
その他の固定資産	15,180,955,239	純資産の部	
		国庫補助金等特別積立金	1,152,098,745
		その他の積立金	1,732,409,212
		次期繰越活動増減差額 (うち当期活動増減差額)	110,682,660 △ 15,921,134
		純資産の部合計	2,995,190,617
資産の部合計	16,094,848,170	負債及び純資産の部合計	16,094,848,170

※流動資産には、商品・製品額を含み、流動負債には、賞与引当金を含む。

法人事業活動計算書

(自) 平成 31 年 4 月 1 日 (至) 令和 2 年 3 月 31 日

(単位: 円)

会計並びに拠点区分名	収益決算額	費用決算額
一般会計	1,126,991,472	1,016,308,812
社会福祉事業拠点区分	472,091,437	441,411,198
公益事業	641,097,931	563,357,960
収益事業	13,802,104	11,539,654
生活福祉資金会計	317,776,145	492,082,796
要保護世帯向け不動産担保型 生活資金会計	48,400,114	48,400,114
生活福祉資金貸付事務費会計	63,555,129	56,131,535
臨時特例つなぎ資金会計	△ 49,703,345	3,292,598

※収益決算額には、前期繰越活動増減差額、国庫補助金等特別積立金取崩額、その他の積立金取崩額を含み、費用決算額には、その他の積立金積立額を含む。

生活福祉資金 4 会計貸借対照表

令和 2 年 3 月 31 日現在

(単位: 円)

勘定科目	金額	勘定科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	3,096,853,498	流動負債	1,862,628
固定資産	911,214,292	固定負債	41,294,424
その他の固定資産	911,214,292	負債の部合計	43,157,052
		純資産の部	
		国庫補助金等特別積立金	3,827,224,500
		その他の積立金	357,565,238
		次期繰越活動増減差額 (うち当期活動増減差額)	△ 219,879,000 △ 37,230,679
		純資産の部合計	3,964,910,738
資産の部合計	4,008,067,790	負債及び純資産の部合計	4,008,067,790

閲覧可能

事業報告書、決算書は、本会ホームページ (<http://www.fukushiokayama.or.jp/>) または本会事務所において閲覧することができます。
【お問い合わせ先】 岡山県社会福祉協議会 総務企画部 (TEL.086-226-2822)

どこよりも解りやすい 指導監査の個別指導!

経営幹部の方 / 経理・事務スタッフの方

Q 役員選任には
監事の
同意が必要?

Q 監事は
評議員会に出席
する義務があるの?

Q 賞与引当金は
必ずしなきゃ
だめなの?

急な
指導監査
でも...

・慌てない
・困らない
・揉めない

SCB 社会福祉協議会
いしはら

株式会社 経営コンサルティング・ブレイン
SCB 公認会計士・税理士 宮崎 会計事務所

0120-747-824

各社所属 千702-0002 岡山県岡山市中区桑野713番地10
9:00~17:30(平日) [HP] <http://www.ssc-scb.com>

2021年4月入学生願書受付中! (最終締切2021年3月19日)

社会福祉学科 通信課程

中国、四国地方で唯一の
短期養成課程!!
※社会福祉士国家試験受験
資格取得1年コース

一般養成課程(1年6ヶ月コース)

一般養成課程(1年コース)

短期養成課程(9ヶ月コース)

精神保健福祉学科 通信課程

一般養成課程(1年7ヶ月コース)

短期養成課程(9ヶ月コース)

教育訓練給付制度対象講座

※新設の社会福祉学科一般養成課程(1年コース)は
教育訓練給付制度の対象です。

詳しくは
QRコードから
HPをのぞい
てください。

好きを極めてプロになる

学ばせよう! 社会福祉
初実地パティシエ福祉力レッジ

〒760-0021 香川県高松市西の丸町14-10
TEL.087-823-5566

※スクーリングはJR高松駅すぐ近くの当校
校舎で行います。



「岡山県運営適正化委員会」 委員が選任されました

岡山県運営適正化委員会では、福祉サービス利用者等からの苦情・相談を受け付け、解決に向けて支援を行っています。

7月9日に岡山県社会福祉協議会において、「岡山県運営適正化委員会」委員の選考に係る「選考委員会」を開催し、県社協会長が選考・提案した委員候補者について、選考委員の同意のもと、委員を選任しました。

委員定数は13名で、任期は令和2年7月18日から2年間です。委員会は、福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）の運営監視を行う「運営監視合議体」と福祉サービスの苦情解決にあたる「苦情解決合議体」に編成して活動します。

なお、委員の選考にあたる選考委員会委員は、広く住民に対し公示した後、選任しました。任期は令和2年7月1日から2年間です。

苦情・相談状況

岡山県運営適正化委員会

令和元年度の苦情件数は33件（30年度24件）、苦情に満たない相談件数は34件（30年度22件）です。苦情受付のサービス種別は、障害者関係が21件と大半を占めていました。続いて高齢関係5件、児童関係5件、その他2件でした。

また、主な苦情内容は、サービス内容（職員の接遇、サービスの質や量）に関するものが多く、全体の7割弱を占めていました。これは、ここ数年同じ傾向です。

◆苦情の申出・ご相談は岡山県運営適正化委員会
Tel 086-226-9400

●岡山県運営適正化委員会

分野及び委員氏名（敬称略）		監視	苦情
公益代表	平松 正臣（就実大学非常勤講師）		○
	山本 浩史（新見公立大学教授）		○
	片岡加代子（元 岡山市立南方保育園長）		○
	竹中 理香（川崎医療福祉大学准教授）	○	
	根石 憲司（岡山県保健福祉部福祉政策企画監）		○
利用者代表	安藤 光徳（公益社団 認知症のひとと家族の会 岡山県支部代表）	○	
サービス提供者代表	宮本 勇（岡山県知的障害者福祉協会監事）	○	
法律	西尾 史恵（弁護士）	○	○
	小川 洋（公認会計士）	○	
	中西 崇陽（公認会計士）	○	
	岡 友和（公認会計士）	○	
医療	児玉 匡史（岡山県精神科医療センター医療部長）	○	○
	中山 真（岡山県精神保健福祉士協会副会長）	○	

●選考委員会委員

分野及び委員氏名（敬称略）	
公益代表	安達 悦子（一般社団 岡山県介護福祉士会）
	渡邊 俊雄（岡山県民生委員児童委員協議会）
利用者代表	鶴川 克己（NPO 岡山県精神障害者家族会連合会）
	日下 功（一般社団 岡山県手をつなぐ育成会）
経営者代表	筒井 恵子（社福 鴻仁福祉会 / 岡山県社会福祉法人経営者協議会）
	中桐 泰（社福 倉敷市社会福祉協議会）

“お車の共済の事なら！”

西日本自動車共済協同組合

お見積り、ご相談、無料で承りますので
お気軽にご連絡下さい！

岡山県支部 〒700-0927
岡山市西吉松 237-126 松本ビル3F
TEL086-246-3355 FAX086-246-3375

【本部】福岡市博多区東比恵 2-15-25
TEL: 092-441-5901

NJ730.1603.0250.999999

●各種看板・サイン・POP・展示装飾・デザイン●

広告美術 企画・製作

美術工房



公益社団法人 全日本広告連盟加盟 岡山広告協会会員

TEL 086-271-4410 (代)
FAX 086-271-4412
〒703-8251 岡山市中区竹田 17-13

通信で
社会福祉士
めざすなら

合格率 38.8%
全国第2位（合格率）

教育訓練給付金（専門実践）50% 給付

学校法人 穴吹学園
穴吹医療福祉専門学校

岡山 穴吹 社会福祉 検索
2021年度生
7月募集開始

TEL 084-931-3325

赤い羽根共同募金

岡山県共同募金会

今年も10月1日から共同募金運動が始まりました。
皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。



赤い羽根共同募金は、「じぶんの町を良くするしくみ。」として、じぶんたちの住む町の地域福祉活動を応援する募金です。



ありがとうメッセージ

《のぞみ花の子保育園》

この度、赤い羽根の助成金で据置型のうんていを整備させていただきました。高さが3段階に分かれているので4歳児にも使いやすく、子どもたちは日々笑顔で挑戦をしています。

赤い羽根共同募金にご協力くださったすべての方々に心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございました。



令和2年度「赤い羽根ボランティア団体・NPO活動支援事業」

岡山県共同募金会では、岡山県内で活動するボランティア団体やNPO法人等非営利団体の活動資金を助成しています。“じぶんの町を良くする”ために、日々活動に取り組まれている皆様からの積極的な応募をお待ちしています。

◆ 助成対象団体

岡山県内において、福祉または福祉を主体とした保健、医療、教育の分野で活動するボランティア団体やNPO法人等非営利の団体

※詳細は本会ホームページにてご確認ください。

岡山県共同募金会ホームページ <http://akaihane-okayama.or.jp/>

自分の経験を活かし、後輩のサポート
利用者さんや職員さんとの橋渡しをしたい



障害者支援施設
こうのしま荘
介護職員 **フィットリアシ** さん
(インドネシア出身)

Vol.51 『ふくし』の 仕事人たち

施設・団体等で働く「ふくし」の
仕事に携わる人たちの声を
紹介していきます。

「ふくしの仕事」を目指したき っかけは？

まだ、インドネシアに住んでいた頃短期間ですが、介護の仕事をしていました。介護の仕事をしていて、利用者さんから「ありがとう」といつてもらえるのがとても嬉しかったですし、やりがいを感じていました。その時から、EPAに基づく外国人介護福祉士候補者の受入事業（※）に興味を持つていました。

数ある施設の中で、社会福祉法人 天神会に入職を決めた理由は？

当時、インドネシアで現地合同説明会が行われ、天神会の説明を聞きました。施設長から施設の説明などをしてもらった時に、自分のお父さんのような、とても優しい雰囲気だったことが印象的で、天神会で働くことに決めました。

仕事をしていて、印象に残っている エピソード嬉しかったことは？

入職して最初の頃は、言葉が難しく利用者さんから厳しい意見

◆現在は育児休暇中とのこと ですが、どのように過ごしている？

毎日の子育ては大変ですが、子ども（結ちゃん）のできることが増えたら嬉しいので、楽しく子育てができています。また、現在は子育てをしながら、自動車学校に通い、運転免許を取得できるように頑張っています。学科試験の勉強では、初めての日本語が多いので苦労しています。

◆今後EPA介護福祉士候補者 を目指す方に応援メッセージを！

日本語の勉強は難しいと思いますが、利用者さんへの声かけなどが大切なので頑張ってください！応援しています！

【施設名】
社会福祉法人 天神会
障害者支援施設こうのしま荘
【住所】 笠岡市神島3628-3
【TEL】 0865-67-6111

※EPAに基づく外国人介護福祉士候補者の受入事業とは、日本の介護施設で就労・研修をしながら、日本の介護福祉士資格の取得を目指す取り組みです。

今後やりたい仕事や目標は？

天神会には、私と同じようにインドネシアから入職した後輩職員がいます。その職員に、私の経験を活かして、利用者さんや職員さんとの橋渡しをしてあげたいです。

をいただくことができました。そんな時に、職場の皆さんにサポートをしてもらい、少しずつコミュニケーション「フィットさんいつもありがとう」と声をかけてもらえて、楽しく仕事ができるようになったことです。

仕事をする上で、大切にしている ことやモットーのようなものは？

利用者さんの気持ちを理解して、寄り添うことができるように意識をしながら働いています。



機関紙「岡山県社会福祉」への
ご意見・ご感想をお寄せください！

ご意見・ご感想をいただいた方の中から3名様にももるんじゃーグッズをプレゼントします。

機関紙へのご意見・ご感想、住所、氏名、年齢をご記入の上、下記までお送りください。

■ 郵 送：〒700-0807 岡山市北区南方2丁目13-1 きらめきプラザ3階
岡山県社会福祉協議会 広報班

■ FAX：086-227-3566 まで

なお、当選の発表は
商品の発送をもってかえさせて
いただきます。

